

- 01) 今村能之：用途指定見直しのための土地利用計画支援システム，東京大学工学部土木工学科卒業論文，1985.
- 02) 今村能之，村井俊治：MOS-1 航空機搭載MESSRのバンド間幾何歪の補正手法について，日本写真測量学会昭和61年度年次学術講演会発表論文集，1986.
- 03) 今村能之，村井俊治，柳田聡：視覚判読を支援するためのSPOTデータ画像処理，日本写真測量学会，昭和61年度秋季学術講演会発表論文集，1986.
- 04) Shunji Murai, Satoshi Yanagida and Yoshiyuki Imamura. 1986. Digital Image Processing for SPOT Data to Support Visual Interpretation. Proceedings of 7th Asian conference on remote sensing.
- 05) 村井俊治，今村能之：陸域における衛生データの利用技術に関する研究—SPOT データを用いた都市周辺土地利用環境の評価—文部省科学研究費特定研究（1）「宇宙からのリモートセンシングデータの高度利用に関する研究」昭和61年度第3回シンポジウム（生研），1987.
- 06) 今村能之：高分解能衛生データを用いた環境監視システムに関する研究 A study on Environmental Monitoring System using High Resolution Satellite Data, 東京大学大学院工学系研究科土木工学専門課程修士論文，1987.
- 07) 村井俊治，今村能之：スポット画像を用いた都市環境指標，日本写真測量学会昭和62年度年次学術講演会発表論文集，1987.
- 08) 石橋良啓，今村能之：スーパー堤防上の水理特性に関する研究，管内技術研究発表会論文集，1989.
- 09) 今村能之：スーパー堤防上の水理特性に関する検討，平成元年度管内技術研究発表会，1989.
- 10) 今村能之：海岸保全計画の立案に関する研究，建設省技術研究会論文集，1990.
- 11) 今村能之：河道特性に関する研究，建設省技術研究会論文集，1990.
- 12) 今村能之：総合治水対策の施設計画に関する研究，建設省技術研究会論文集，1990.
- 13) Yoshiyuki Imamura. 1990. A study on Characteristics of Flood Way.
- 14) Yoshiyuki Imamura. 1990. A study on Coastal Prevention Planning.
- 15) Yoshiyuki Imamura. 1990. A study on Facility Planning for Comprehensive Flood Control.
- 16) 不明：全国の浸水実績図，（社）日本河川協会，1991.
- 17) 建設省河川局河川計画課：第8次治水事業5カ年計画の概要，河川，pp.18-19，1991.
- 18) 建設省河川局河川計画課：河川行政の周辺科学—特集にあたって—，河川，pp.3-4，1992.
- 19) 建設省河川局河川計画課：第八次治水事業五箇年計画の決定について，河川，pp.21-29，1992.
- 20) 今村能之：Report of the River Council —安全で美しい水系の創造—，1992.
- 21) Environmental Impact Assessment of Saguling Dam. 1993. Academic report at the Seminar on Environmental Impact Assessment.
- 22) Handa, Kusu, Takashima and Imamura. 1993. A study on Environment Impact Assessment of Saguling Dam, Seminar on EIA. Yoshiyuki Imamura.
- 23) 栗城 稔，今村能之，小林裕明：メッシュデータを用いた氾濫域の資産分布の推定手法，土木技術資料，1994.
- 24) 今村能之：水害による精神的影響の把握に関する研究，土木学会年次講演集土木学会年次講演集，1994.
- 25) 株式会社 建設技術研究所：水害による精神的影響に関する調査業務，報告書，1994.
- 26) Yoshiyuki Imamura. 1994. A Study on Intangible Cost by Flood, Academic presentation at the Annual Symposium of Japan Society of Civil Engineering.

- 27) 栗城稔, 今村能之, 小林裕明 : 水害被害の実態調査に基づく一般資産の被害率の推定, 土木研究所資料第 3330 号, 1995.
- 28) 栗城稔, 今村能之, 小林裕明 : 水害被害の実態調査に基づく一般資産の被害率の推定, 土木技術資料 Vol. 37-1, pp. 40-45, 1995.
- 29) 株式会社 三菱総合研究所 : 水害による精神的影響の定量化に関する調査業務, 報告書, 1995.
- 30) 今村能之 : 水害が被災者に及ぼす精神的影響, 河川 589, pp. 12-17, 1995.
- 31) 不明 : 治水経済調査要綱, 各種資産評価額単価及びデフレーター, 1995.
- 32) 今村能之 : 1995 年夏のイギリスの猛暑と水不足, 河川 591, pp. 149-152, 1995.
- 33) 株式会社建設技術研究所 : 資産価値法を用いた洪水被害の推計及び治水事業効果の把握に関する調査, 報告書, 1996.
- 34) 栗城稔, 今村能之, 小林裕明 : 洪水被害の精神的影響の構造化モデル, 土木技術資料 Vol. 38-4, pp. 62-67, 1996.
- 35) 建設省 : 社会資本維持更新・機能向上技術の開発 ダム・河川ゲート, 建設省総合技術開発プロジェクト報告書, pp. 58-67, 1996.
- 36) [栗城稔, 今村能之, 小林裕明 : 水害の精神的影響の経済的評価, 自然災害科学 vol. 15-3, pp. 231-240, 1996.](#)
- 37) 栗城稔, 今村能之, 小林裕明 : 地価関数による洪水被害額の推計, 土木計画学研究・講演集 No. 19 (1), pp. 325-328, 1996.
- 38) Yoshiyuki Imamura. 1996. People and conservation of a heritage: a case study of stone bridges along the River Koutsuki, Japan, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 39) Yoshiyuki Imamura. 1996. The integrated solution of water pollution and resettlement problems: a case study of the Saguling dam project, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 40) Yoshiyuki Imamura. 1996. What role can inland waterways in England play for sustainability?
Department of Geography, The University of Cambridge.
- 41) Yoshiyuki Imamura. 1996. Project: Delta Management Schemes in Comparative Perspective, The Feasibility of Japanese Flood Control Schemes in Bangladesh, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 42) Yoshiyuki Imamura. 1996. Management of the 1995 drought in England: Lessons for water supply in Japan, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 43) Yoshiyuki Imamura. 1996. Management of the 1995 drought in England: Lessons for water supply in Japan, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 44) Yoshiyuki Imamura. 1996. A Japanese drought: Fukuoka in 1994/5. UK CEED Bulletin No. 49, pp. 26-27.
- 45) Yoshiyuki Imamura. 1996. Management of the 1995 drought in England: Lessons for water supply in Japan, Department of Geography, The University of Cambridge.
- 46) 不明 : 海岸事業の費用対効果分析手法. 1998.
- 47) (財) 国土開発技術研究センター : 日本と比較した英国の海岸環境について～ナホトカ号油流出事故などの経験を踏まえて Prof. David R Cope 講演記録, 1998.
- 48) 佐藤慎司, 笠井雅広, 今村能之他 : 海岸事業の事業効果に関する調査, 建設省直轄技術報告会, 1998.

- 49) 笠井雅広, 佐藤慎司, 今村能之, 原文宏, 平野宜一 : CVMによる海岸空間の価値に関する意識調査, 海岸工学論文集, pp.1286-1290, 1999.
- 50) 今村能之 : 日本と比較した英国の海岸環境についての講演会, 海岸第 38 巻第 2 号, pp. 42-46, 1999.
- 51) 海岸室 : 海岸事業の費用対効果分析について, 海岸第 38 巻第 2 号, pp. 80-84, 1999.
- 52) 海岸室 : 再評価及び新規採択時評価について, 海岸第 38 巻第 2 号, pp. 85-89, 1999.
- 53) 今村能之, 川瀬宏文, 伊藤泰広, 佐藤慎司, 笠井雅広, 諸田勇, 平野宜一 : 海岸災害における精神的被害に関する調査, 海洋開発論文集, 第 15 巻, pp. 665-670, 1999.
- 54) 今村能之, 佐藤慎司, 笠井雅広, 斉藤明, 原文宏, 平野宜一 : CVMによる新潟海岸の環境整備便益の計測, 海洋開発論文集, 第 15 巻, pp. 659-664, 1999.
- 55) 加藤 史訓, 笠井雅広, 佐藤慎司, 今村能之 : 越波被害の実態に関する全国調査, 海洋開発論文集, 第 15 巻, pp. 31-36, 1999.
- 56) 不明 : "Water in Rivers" 事前会合の開催, 川の MONTHLY INFORMATION 9月号, pp. 28-29, 1999.
- 57) 建設省河川局河川計画課 : 世界水ビジョン東京会議開催, 国際建設情報 No. 230, pp. 1-2, 1999.
- 58) 建設省河川局河川計画課 : 世界水ビジョン東京会議開催される, 河川 641, pp. 85-92, 1999.
- 59) 中村圭吾, 今村能之 : 世界水ビジョン東京会議開催される, ダム技術, 1999.
- 60) 不明 : "世界の水" 問題に "河川流域の視点を", 川の MONTHLY INFORMATION 12月号, pp. 4-7, 1999.
- 61) 今村能之 : 世界水ビジョン東京会議が開催される, リバーフロント.V0137, pp33-34, 2000.
- 62) 建設省河川局河川計画課 : 「第2回世界水フォーラム」に向けての準備会議開催される, 河川 642, pp. 52-53, 2000.
- 63) 建設省河川局河川計画課 : 第14回日中河川及びダム会議, 河川 643, pp55-63, 2000.
- 64) 今村能之 : 第2回世界水フォーラムに参加して, 河川 646, pp. 76-78, 2000.
- 65) 建設省河川局河川計画課 : 平成12年「川の日」関連行事の実施について, 河川 647, pp. 91-92, 2000.
- 66) 河川局河川計画課 : 第2回世界水フォーラム開催される, MCM建設月報6月号No. 612, pp. 44-46, 2000.
- 67) 今村能之 : ユネスコ国際水文計画政府間理事会及び世界水発展レポートプロジェクトについて, 河川, pp. 77-79, 2000. 社団法人日本河川協会
- 68) [Yoshiyuki Imamura. 2000. Economic Evaluation of Coastal Management in Japan, Coastal Management Integrating Science, Engineering and management, pp. 39-47.](#)
- 69) 今村能之 : 世界水アセスメント計画-第3回水フォーラムを契機とした新たな取り組み, 河川, pp. 45-50, 2003. 社団法人日本河川協会, pp.45-50
- 70) [今村能之 : 世界の水危機と国連の取り組み, 国際問題 No. 521 号, pp. 14-33, 2003. 財団法人日本国際問題研究所, pp. 14-33](#)
- 71) World Water Assessment Programme (WWAP). 2003. Water for people, The United Nations World Water Development Report, UNESCO/Berghahn Books (Member of WWAP secretariat).
- 72) 今村能之: 世界の水危機ユネスコと日本の取り組み, Journal JAPON Association Amicable des Ressortissants Japonais en France(A. A. R. JF), 2004.
- 73) 今村能之 : 新所長から皆様へのご挨拶, インフォメーション荒川9月号, 2005.

- 74) 今村能之：事務所長から皆様へ，インフォメーション荒川10月号，2005.
- 75) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川11月号，2005.
- 76) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川12月号，2005.
- 77) 今村能之：26基の横堤を延ばす荒川河道—国際機関が注目する治水・利水・環境—，季刊 河川レビュー，pp.36-43，2005.
- 78) 今村能之：荒川太郎右衛門地区自然再生事業について，美しい川と湖，pp.6-7，2005.
- 79) 今村能之：河川整備計画の策定へ，日刊建設新聞2006.1.5，2006.
- 80) 今村能之：平成18年1月事務所長からのご挨拶，インフォメーション荒川1月号，2006.
- 81) 今村能之：荒川上流河川事務所管内の事業概要 気象庁熊谷地方气象台と共同で入間川流域洪水予報の発表を実施，建設往来，pp.71-73，2006.
- 82) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川2月号，2006.
- 83) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川3月号，2006.
- 84) 今村能之：第4回世界水フォーラムと国連の取り組み，リバーフロントVOL56，2006.
- 85) 藤原梯子：世界水発展報告書「人類のための水・生命のための水」，水のFORUM Volume6，pp.26-33，2006.
- 86) 今村能之：平成18年度—新たな年度を迎えて—，インフォメーション荒川4月号，2006.
- 87) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川5月号，2006.
- 88) 今村能之：荒川での自然再生の取り組みを第4回世界水フォーラム(メキシコ)で紹介しました，リバーフロントVOL57，2006.
- 89) OECD. 2006. OECD Studies in Risk Management Japan Floods, pp.1-60 (Member of the steering committee).
- 90) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川6月号，2006.
- 91) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川7月号，2006.
- 92) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川8月号，2006.
- 93) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川9月号，2006.
- 94) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川10月号，2006.
- 95) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川11月号，2006.
- 96) 今村能之：戸田マラソン in 彩湖2006，戸田マラソンパンフレット，2006.
- 97) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川12月号，2006.
- 98) 今村能之：図画コンクール「発刊のご挨拶」，2006.
- 99) 今村能之：安全で美しい、地域に親しまれる荒川づくり，日刊建設新聞2007，2007.
- 100) 今村能之：世界の水危機—環境と開発の調和に向けての国連の取り組み(その3)，リバーフロントVOL58，2007. 財団法人リバーフロント整備センター、pp.28-35
- 101) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川1月号，2007.
- 102) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川2月号，2007.
- 103) 今村能之：荒川づくり研験楽学，インフォメーション荒川3月号，2007.
- 104) 今村能之：事業年間報告序文，2007.
- 105) [今村能之：国連の水問題に関する取り組みの成功要因についての考察—国連世界水アセスメント計画\(WWAP\)とグローバル国際水域評価\(GIWA\)との比較—，Crucial Factors in the Development of a UN Water Assessment Programme- Comparison of the World Water Assessment Programme \(WWAP\) with Global International Waters Assessment \(GIWA\)-，水文・水資源学会誌、Vol.20, No.5, pp400-408,2007.](#)

- 106) 今村能之：世界の水問題解決に向けた国連世界水アセスメント計画（WWAP）の役割と日本の国際的地位
 位向上に関する研究, The role of the World Water Assessment Programme (WWAP) in coping with global water crisis and an improvement of Japan's status in an international society, 東京大学大学院工学系研究科, 博士論文, 2008
- 107) [今村能之：世界の水問題解決に向けての国連世界水アセスメント計画（WWAP）の役割—国連の取り組みを通じた日本の国際的地位向上を目指して—, Role of the World Water Assessment Programme \(WWAP\) in Coping with Global Water Crisis - Towards International Appreciation of Japanese Contribution through UN Initiatives—, 水文・水資源学会誌, Vol.21, No.2, pp140-157, 2008.](#)
- 108) [今村能之：世界の水分野に関する主要な動向, 土木技術資料, Vol. 51, No. 1, pp.10-13, 財団法人土木研究センター, 2009](#)
- 109) [今村能之：世界の水問題解決に向けた国連世界水アセスメント計画\(WWAP\)の役割と日本の国際的地位向上に関する研究, The role of the World Water Assessment Programme \(WWAP\) in coping with global water crisis and an improvement of Japan's status in an international society, 国土技術政策総合研究所資料 512 号, 国土技術政策総合研究所, 2009](#)
- 110) 藤田光一, 今村能之, 望月貴文：閉鎖性水域における環境再生の実現に向けて—三河湾流域をモデルとした物質循環管理方策の提案—, 国総研アニュアルレポート 2009, Annual Report of NILIM, p.65, 国土技術政策総合研究所, 2009
- 111) 今村能之, 原野崇, 伊藤嘉奈子：「地域性」を簡易に把握できることを目指して, 国総研アニュアルレポート 2009, Annual Report of NILIM, p.71, 国土技術政策総合研究所, 2009
- 112) 大沼克弘, 武内慶了, 今村能之, 藤田光一, 西本直史, 平井新太郎, 宮内信：セグメント2河道を対象とした河道掘削後の戦略的河道管理に関する研究, Research on Strategic River Management of Segment-2 River After River Improvement, 河川技術論文集, 第 15 巻, pp.291-296, 2009
- 113) 伊藤嘉奈子, 原野崇, 富田陽子, 今村能之, 藤田光一：学校教育における河川体験学習の効果の定量的把握, 第 64 回年次学術講演会講演概要集, 社団法人土木学会, 第 64 巻VII部門, pp.189-190, 2009
- 114) 伊藤 嘉奈子, 原野 崇, 天野 邦彦, 富田 陽子, 今村 能之, 藤田 光一：水辺などにおける地域活動と地域住民の持つ特性との関係に関する研究, 第 37 回環境システム研究論文発表会講演集, 社団法人土木学会環境システム委員会, 第 37 巻, pp.343-350, 2009
- 115) The World Bank, GFDRR, Government of Japan, 2012, The Sendai Report, Managing disaster risks for resilient future, (Inputs and contributions).
- 116) S. M. Scheierling and K. N. Lyon, 2013, The Water Portfolio of the World Bank, Insights from a review of fiscal year 2011, The World Bank (Member of the Quality Working Group).
- 117) Yoshiyuki Imamura. Yoganath Adikari. 2013. KD5: Water-Related Disaster Resiliency, Asian Water Development Outlook 2013, pp. 67-75. Asian Development Bank (ADB)/Asian-Pacific Water Forum.
- 118) 今村 能之, プロジェクト重視から” Solution Bank” への移行, 日刊建設工業新聞 (11月27日、10面), 2013
- 119) 国土交通省, 水とエネルギー—概要, 2014 年 国連世界水発展報告書, (Executive summary of Water and Energy, The United Nations World Water Development Report 2014 の日本語版の監修), 2014

- 120) [急増する世界の水災害とリスク評価, Safety Eye, 損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社, No. 12, pp. 2-17, 2015年5月](#)
- 121) 第3回アッサム水会議(2015)とブラマプトラ河侵食対策、雑誌河川、日本河川協会、pp. 66-69、2015年5月
- 122) [堀田裕也, 今村能之: 降雨予測を活用した確率情報を含む避難情報提供に関する研究, 土木学会中国支部研究発表会, 社団法人土木学会, pp. 75-76, 2016](#)
- 123) [樋口美沙, 今村能之: 佐波川流域との比較によるトンダノ川流域の総合的な治水対策に関する基礎的研究, 土木学会中国支部研究発表会, 社団法人土木学会, pp. 67-68, 2016](#)
- 124) [佐々木翔太, 中村知命, 神野有生, 今村能之: 合成開口レーダを用いた日本の中規模河川における植生モニタリング技術の開発, 土木学会論文集 G\(環境\), Vol. 73, NO. 5, 地球環境論文集 第25巻, I_303-I_308, 2017](#)
- 125) 今村能之: 草地及び樹林化の状況把握への地球観測技術の適用可能性の検討, 技術開発支援事業成果報告書, 一般財団法人中国弘済会, p. p. 1-21, 2017
- 126) 佐々木翔太, 今村能之, 藤岡賢人: 水害リスク評価指標の開発および世界各国への適用に関する研究, 水文・水資源学会 2017年度研究発表会, 2017 (ポスター)
- 127) Syota Sasaki, Ariyo Kanno, Yoshiyuki Imamura: Estimating vegetation height using L and X band synthetic aperture radar images for effective river management, 38th Asian Conference on Remote Sensing (ACRS), Asian Association on Remote Sensing (AARS), New Delhi, India, 2017, (abstract)
- 128) [Yoshiyuki Imamura, Syota Sasaki: Assessing flood risks globally using an improved country-based index, UNESCO-JASTIP Joint Symposium on Intra-Regional Water Security and Disaster Management, 3rd Symposium on JASTIP Disaster Prevention International Cooperation Research \(JASTIP-WP4 Symposium\), Metro Manila, the Philippines, 2017](#)
- 129) [佐々木翔太, 多田 愛, P.E. Yastika, 森 啓年, 清水則一, 今村能之: 差分干渉合成開口レーダー\(D-InSAR\)を用いた平成28年熊本地震における液状化被災状況の抽出に関する研究, 平成29年度秋季学術講演会発表論文集, 日本写真測量学会, p. p. 83-84, 2017](#)
- 130) [今村能之, 池内寛明, 岡本俊彦, 田中耕司, 小池俊雄, 池内幸司, 石渡幹夫, 宮本守, 一言正之, 山崎大, 平林由希子: Seventh International Conference on Flood Management 参加報告, 水文・水資源学会誌第31巻第1号, p. p. 25-31, 2018](#)
- 131) [小室隆, 松永晋平, 乾隆帝, 赤松能久, 今村能之: 日本全域におけるヤナギ類の空間分布予測と河川樹林化管理目標ベースマップの作成, 土木学会論文集 B1\(水工学\) Vol. 74, No. 4, I_493-I_498, 2018](#)
- 132) 松永晋平, 小室隆, 赤松能久, 乾隆帝, 今村能之: 日本全国におけるヤナギ類の空間分布予測及び高津川における樹林化要因分析, 土木学会中国支部研究発表会, 社団法人土木学会, 2018